

NO. 308

じゅんあい

平成24（2012）年11月1日

貴いことに用いる器



「人よ、神に口^{くちごた}答^{こた}えするとは、あなたは何者か。造^{つく}られた物が造^{つく}った者に、『どうしてわたしをこのように造^{つく}ったのか』と言えるでしょうか。焼き物師は同じ粘^{ねんど}土^どから、一つを^{どうと}貴^{うつわ}いことに用^{もち}いる器^けに、一つを貴^{うつわ}くないことに用^{もち}いる器^けに造^{つく}る権^{けん}限^{げん}があるのではないか。

神はその怒^{いか}りを示^{しめ}し、その力を知らせようとしておられたが、怒^{いか}

の器として滅びることになっていた者たちを寛大な心で耐え忍ばれたとすれば、それも、憐れみの器として栄光を与えようと準備しておられた者たちに、御自分の豊かな栄光をお示しになるためであったとすれば、どうでしょう。

神はわたしたちを憐れみの器として、ユダヤ人からだけでなく、異邦人の中からも召し出してくださいました。」（ローマ 9：20～24）

その器が貴いことに用いられる器となるか、あるいはまた貴くないことに用いられる器となるか、それはすべて焼き物師の手にかかっている。即ち、真の焼き物師であられる主なる神の御手の中に、すべてにはにぎられている。そして主は、出来そこないの器をも、もう一度練り直して貴きに用いられる器にすることも可能なのである。

貴いことに用いられる器として、主はイスラエルを選民として立てられたが、私達異邦人をも、憐れみによって主のお役に立つ器とすることがお出来になる。

「だから、心に留めておきなさい。あなたがたは以前には肉によれば異邦人であり、いわゆる手による割礼を身に受けている人々からは、割礼のない者と呼ばれていました。また、そのころは、キリストとかかわりなく、イスラエルの民に属さず、約束を含む契約と関係なく、この世の中で希望を持たず、神を知らずに生きていました。

しかしあなたがたは、以前は遠く離れていたが、今や、キリスト・イエスにおいて、キリストの血によって近い者となったのです。

実に、キリストはわたしたちの平和であります。二つのものを一つにし、御自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊し、規則と戒律なくめの律法を廃棄されました。

こうしてキリストは、双方を御自分において一人の新しい人に造り上げて平和を実現し、十字架を通して、両者を一つの体として神と和解させ、十字架によって敵意を滅ぼされました。

キリストはおいでになり、遠く離れているあなたがたにも、また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました。

それで、このキリストによってわたしたち両方の者が一つの霊に結ばれて、御父に近づくことができるのです。従って、あなたがたはもはや、外国人でも寄留者でもなく、聖なる民に属する者、神の家族であり、使徒や預言者という土台の上に建てられています。

そのかなめ石はキリスト・イエス御自身であり、キリストにおいて、この建物全体は組み合わされて成長し、主における聖なる神殿となります。キリストにおいて、あなたがたも共に建てられ、霊の働きによって神の住まいとなるのです。」

(エフェソ 2:11~22)



あゝ、何という主の寛大な導きであることか。神なくキリストなく救いなくイスラエルの民籍に遠く、何の希望も持てなかった者であるのにイスラエルと同じ神の家族、聖なる神殿、神の住まいと変えて下さるのである。

ただ心より神は愛なり！！ と叫ばずにおられない。

「兄弟たち、あなたがたが召されたときのことを、思い起こしてみなさい。人間的に見て知恵のある者が多かったわけではなく、能力のある者や、家柄のよい者が多かったわけでもありません。

ところが、神は知恵ある者に恥をかかせるため、世の無学な者を選び、力ある者に恥をかかせるため、世の無力な者を選びました。また、神は地位ある者を無力な者とするため、世の無に等しい者、身分の卑しい者や見下げられている者を選びましたのです。

それは、だれ一人、神の前で誇ることをないようにするためです。神によってあなたがたはキリスト・イエスに結ばれ、このキリストは、わたしたちにとって神の知恵となり、義と聖と贖いとなられたのです。『誇る者は主を誇れ』と書いてあるとおりになるためです。」

(コリント I 1:26~31)

く
奇しき主の選び・・・

無学な者、無力な者、身分の卑しい者、見下げられている者をあえて選び、知恵を与え、美なる者、聖なる者と変えて下さるのである。

さどう
茶道の世界でも貴いとされている名碗は、みんなから珍重されてまことに結構なことである。しかし、あまりかえりみられない茶碗であっても亭主が愛情を注いで、これもまた良い味わいがあるのではないかと引き上げ、客人に出せば“なるほど”と、見直され良い茶碗になることを忘れてはならない。高価なものだけが名碗ではなく、安い値のものでも、その特長を見出し活用すれば名碗ともなることを忘れてはなるまい。

最近、ひよんな事で手に入った志野の茶碗がある。最初は『志野のイメージからかけ離れた茶碗だなー。』と敬遠していたが、じっと見入ると、えも言えぬ品格があるのに気付き入手して、つらつらながめるに、朱の色と、いびつになった形がたまらなく良く見え、東日本大震災の津波で押し流され、再び建立された自分の郷里（北茨城市）の近くの五浦海岸のベンガラ色の六角堂とだぶり、その志野茶碗に“六角堂”との銘をつけたのであった。

その後、奇しきことに福井県の越前焼の陶芸館で同じ作者の茶碗に出
会い、その人が山田和という大変有名な陶芸家であることを知り、改め
て値の高さに驚いたことであった。

さらに吉報は続く・・・

5月23日午前10時、陶芸家のN氏より作詞・作曲4万曲を記念し
てのお祝いの抹茶碗が本人よりもたらされた。

それは、侘び寂とはこのような色と形をしたものだろうと思わせる名
碗で、外側の面に高山右近と白く彫り込まれ、割高台の中には控え目に
4000曲と刻まれ、また内側にはしゅい白の十字架がやわらかく
慈悲深く、控え目に描かれ、どこから見てもまことに最高傑作と呼ばず
におられない名碗で、私が作る讚美歌4万曲の先取りとして献納され、
心が沸き立つ。

ただ感謝！ ハレルヤ

貴きに用いられる器、しかも侘び寂をともなって・・・

私達は主の御手に一切を委ね、一人一人を貴いことに用いられる器と
することがお出来になると信じて、その最善の業を疑わない日々を過ご
さねばならない。

抹茶茶碗からも深い聖書の意義を教えられるのである。

殉愛キリスト教会

牧師：山縣 實

〒920-0814 石川県金沢市鳴和町夕 210 Tel・Fax 076-251-2247

E-mail : jun-i-yamagata@ishikawa.email.ne.jp

URL : <http://www.ne.jp/asahi/jun-ai/christ-church/>